

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(こども園・保育所等・小規模保育)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 ACOBA
所 在 地	千葉県我孫子市本町3-4-17
評価実施期間	令和7年9月1日～令和7年11月30日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	ぽけっとランドあびこ保育園 ポケットランドアビコホイクエン		
所 在 地	〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子1-19-3		
交通手段	JR常磐線我孫子駅北口より徒歩7分、または自転車		
電 話	04-7184-5700	FAX	04-7184-5709
ホームページ	あり		
経営法人	学校法人三幸学園		
開設年月日	平成24年4月1日		
併設しているサービス			

(2) サービス内容

対象地域	我孫子市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	15	15	20	20	25	25	120		
敷地面積	783.89㎡			保育面積			899.05㎡		
保育内容	0歳児保育	○	障害児保育	○	延長保育	○	夜間保育	○	
	休日保育		病後児保育		一時保育	○	子育て支援		
健康管理	視診、検温、給食介助、排泄介助、午睡介助他								
食事	給食(昼・おやつ)								
利用時間	7時～20時								
休 日	日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)								
地域との交流	幼保小、消防署他								
保護者会活動	運営委員会(年2回)								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		25	11	37
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	30	0	3	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	0	0	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	直接園に書類提出		
申請窓口開設時間	9時～18時		
申請時注意事項	我孫子市こども部保育課までお問い合わせください		
サービス決定までの時間	申し込み時期により異なる		
入所相談	随時		
利用代金	初期費用（各年齢により）、雑費月500円		
食事代金	幼児6,500円		
苦情対応	窓口設置	有	
	第三者委員の設置	有	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

サービス方針 (理念・基本方針)	<p>保育理念：個を受容し、共感するなかで主体性を育む</p> <p>保育方針：子どもの生きる力の土台がつけられる保育</p>
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> 家庭保育では味わえない園行事の様々な経験が体験できること 園周辺に公園が沢山あります。戸外遊びが充実していることで、五感が刺激されます。 異年齢保育では多様な友達との関りから子ども同士がお互いに刺激しあって共に成長していきます。
利用（希望）者 へのPR	<p>より良い環境の中で個性を大切にしながら、のびのびと自立できる子ども像を目指し、自分で感じて、考えて行動するために心と身体を駆使し取り組んでいます。子どもたちの中から湧き上がる「やってみよう」を大切に『楽しい』『考えるって面白い』を知り、どんどん力が湧いてきて、豊かな心が育つことを大切にしています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

4

特に力を入れて取り組んでいること

1. 保護者の意見や要望を聞く体制

保護者向けのアンケートは回収率が99%であり、保護者の園への関心の高さがうかがえる。その内容はきわめて肯定的であり、しかも記述による回答も多く、職員や保育内容についての評価が高い。これは日常的に保護者から意見や要望を聞く体制が整っているものと思われる。当園で4月に年齢ごとにクラスから保護者を1名運営委員に選出して、運営委員会を開催しており、その場では保護者から様々な意見・要望が出され園運営に反映されている。運動会や発表会などの行事の後にもアンケートが実施され、保護者の意見が集められ次の行事に活かされている。行事アンケートでも満足度が高く、保護者の行事への参加率も高い結果となっている。

2. 保護者と園の良好な関係

アンケートの回答率の高さや「保育参加は普段のこどもの様子が見られて楽しい、個人面談では細やかにこどもの様子を話してもらえ、家庭での対応の参考になる、家庭以外で子育ての悩みを共有してもらえることで助けられている」という保護者の言葉からは、職員の日々熱心な対応への感謝が伝わってくる。保護者は園の運営に大変協力的で、関係も良好と職員は感じ、園長は、「こども達を元気にご家庭にお返しするということのできているので、保護者は安心して預けてくれると思っている。」

3. 楽しい食育活動

各クラスでシイタケを育て、今年は干しシイタケ作りにチャレンジし、キノコへの興味関心を持てる取組をしている。毎月の誕生会メニューのホットケーキは、お誕生日に該当するこども達は大好きなアンパンマンホットケーキを食べることが出来、特別感が味わえる。夏祭りの日は屋台メニューの焼きそばを振る舞う。お月見の時はお月見カレーを出すなどで行事や季節を味覚で味わうことが出来る様にしている。年長児のお別れバイキングではこども達のリクエストメニューのから揚げや焼きそばを楽しく味わう事が出来る。苦手な食べ物にもこども達がチャレンジしたくなるよう、栄養についてわかりやすい話を保育士がこども達に伝えるなど、「楽しく美味しく食べる」に向けての食育活動は保護者から好評である。

4. 園に対する法人からの充実したバックアップ体制

法人は保育だけでなく様々な事業運営を広範囲にわたり行っている。その中で、保育事業部門についてはチャイルドケア事業部が中心になり指導・管理を行っている。法人系列42保育園の園長会議も定期的を実施されており、その場では法人の情報、他園の実践状況のみならず、社会の変化や保育の動向・課題などの最新情報を確認することが出来ており、これらの情報を園長は園運営へ活かすことが出来ている。福利厚生にも特色がある。新入職員は入職から6か月を待つことなく有給休暇を10日間取得でき、安心して仕事に打ち込み、計画的に休養をとることも可能となっている。またマイプランボーナスと称して退職金の前払い制度もある。キャリアチャレンジ制度があり入職2年間で権利を獲得し、退職せず法人間での異動も可能であるなど、様々な経験を積むことで保育へのより深い関りが可能となっている。

さらに取り組みが望まれるところ

1.安全対策の強化

保護者はカードキーで保育園内に入る。年2回実施する不審者対応訓練では外部の人が不審者に扮し、より現実的な訓練を実施したり、園舎内外に監視カメラも設置する等、各種防犯対策を行っている。一方、少数ではあるが保護者アンケートでは、多忙によるこどものみまもりの不備、入り口のセキュリティー対策等への指摘がある。例えば道路から園内に繋がる外門扉と脇の門扉は、手動で簡単に開けられる等、建物周りの防犯対策の充実、災害時の電源の確保など今回のアンケートの指摘事項等も併せて検討され、安全対策の強化を期待したい。

2.地域とのかかわりをさらに広げる保育

我孫子市の主導により、幼保小連携は盛んに進められており、こどもにとって地域との関りを深める有益な活動となっている。園近くの公園の春と秋年2回花植など地域での活動もある。マンションの林立する地域の中で地域との交流は様々な困難も予想されるが、町内会に加入するなど保護者に限らず交流を深めることが、地域への貢献にもなっていき、園内の保育の質向上にも結びついていくものと期待される。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

第三者評価を受審し、保護者、職員からの目線での忌憚のない意見が気づきとなる良い機会でした。日頃、言いづらいことなども評価の機会があるからこそ、普段であれば言えないことが自由に意見できる良い機会となりました。その思いを聞いたことでより課題点が明確化できると思いました。2月の職員会議で結果を共有し良いところは継続し課題点や要因は何か、またどうしたら改善できるか等を話し合っていこうと思います。回答率が高かったことで、多くのご意見を頂けたことや、保護者から温かいご意見もあり職員のモチベーションにもつながることや、大切にしたいこと、自信をもって仕事に向き合える機会でもありました。

また、大きな課題としての人員不足に関しては、事業部と連携を取りながら正職員の採用数や有資格者のアルバイト職員の好条件採用に努めていきます。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3		
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	6	1	
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3		
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7		
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5		
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4		
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5		
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3		
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4		
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4		
			14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3		
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4		
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2		
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4		
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4		
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5		
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6		
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5		
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5			
24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。			4			
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6			
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。			6			
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。			4			
28 家庭との連携が十分図られている。			3			
29 地域社会との連携が十分図られている。			3			
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。			3			
5 安全管理	環境と衛生 事故対策	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3			
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4			
		33 食育の推進に努めている。	5			
6 地域	地域子育て支援	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			
		36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6			
計				157	2	0
				☑実施数	☐未実施数	☒非該当

項目別評価コメント (こども園 保育園 小規模保育)

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。 非該当

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント) パンフレットやホームページに理念や基本方針が記載されており、それを具現化した保育目標と10項目からなる私たちの約束が入園のしおりなどにも記載され事務室にもよく見える場所に掲示されている。理念等については職員会議や日々の会議において共有化を図っている。	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント) 入園のしおりや重要事項説明書を通して理念や基本方針は説明している。入園のしおりにおいては理念を図解し理解しやすいよう工夫している。アンケート結果からも94%の保護者が保育目標や方針について説明を受け、知っていると回答している。	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
(評価コメント) 中・長期事業計画については現在チャイルドケア事業部で策定検討中である。事業報告及び事業計画は年度ごとに作成され、重要課題が明確化され、職員会議、リーダー会議、乳児・幼児会議等で関係職員の参加のもと話し合われ、計画実現が図られている。また、年間の職員研修計画に基づいて理念・基本方針の実現が推進されている。	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント) 理念に基づいた保育実現のため、「スキルアップシート」を職員は5段階で自己評価している。それを基に園長は職員との個人面接を行い、職員の抱える課題や今後やってみたいことなどを聞き意欲向上につなげている。面接を通して次年度の園内の16項目係分担を決める手だてとしている。	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
(評価コメント) 職員の心得を配布し、遵守すべき法令や倫理の周知を図っている。また、チャイルドケア事業部からは職員心得が配布され職員が特に守るべき諸規則を理解し、遵守することを促している。そこには過去のNG事例が具体的に例示されており理解しやすくなっている。全職員を対象に、法人事業部が主催するビジョンミーティングにおいても法令遵守や守るべき倫理については周知徹底を図っている。	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
(評価コメント) コドモンやteamsの導入で業務効率化を図っている。職員の係分担にはICT係が年度ごとに決められ活用が進められている。新入職員の有給休暇は6か月を待たず入職時から有給をとることが可能となっている。感染症については有給ではなく特別休暇をとることができる。福利厚生に関しては、ファミリーサポート休暇、私学共済の利用も可能である。他園にはない三幸学園独自の退職金前払い制度等もあり、福利厚生制度が充実している。	

評価項目	標準項目
7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に 行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行 われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント) 人事方針についてはチャイルドケア部で策定されている。スキルアップシートを用いて、自己評価と園長評価に差がないか等を含めた個人面談を年2回実施 (新卒者は年4回)し、公平な評価がなされている。人材確保には努めているが、年度途中の性職員採用は難しく、派遣(3か月ごとの契約)やアルバイト採用で 補うこともある。	
8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体 的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確 立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制につい て、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント) 計画に基づいて人材確保に努めているが、人材確保は若干厳しい状況にある。三幸学園の養成校からの採用が可能であり恵まれている面もある。例年10月末 には退職希望を確認し、次年度の人材確保に向けた対応を行っている。	
9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示さ れ、研修計画を立て人材育成に取り組んでい る。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント) 階層別研修として、1年目・中堅・主任・園長とそれぞれのステップに合わせた研修を学校法人として実施している。園内の年間の園内研修については園長をは じめ三人の職員が係として担当し、研修を進めている。また、自己研鑽研修として、コドモンカレッジを利用し動画の視聴(2種の動画は必須)を必須としている。 動画視聴は職員会議で研修報告をしている。新採保育士についてはOJT研修などを実施している。	
10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を 行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重 している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策 を立て対応している。
(評価コメント) こどもの人権については園内研修で個人ワーク、グループワークの実施や性教育の研修を行っている。「こどもの人権ってなんだろ。」「不適切な保育が行われ たときどうなるのか。」などをテーマにして研修を深めている。今後も「適切な保育」の実現に向けて職員の共通理解と実践を目標にしている。	
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を 図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行 している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
(評価コメント) 個人情報保護については三幸学園全体のホームページにも掲載されており、保護者からも「保育園利用に関する同意書」の中で、「個人情報保護の方針」につ いて個人情報の提供、個人情報の使用について意向を確認し記名押印をもらっている。	
12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備 し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント) 運動会、発表会などの行事の後にはアンケートを取り利用者満足度を把握している。アンケート結果から問題点があれば次年度に改善していくよう職員会議で 話し合い、次年度の改善につなげている。保護者との個人面談の記録は、コドモンに収めている。0歳児から5歳児までの保護者である運営委員からなる運営委 員会でも様々な意見が出され、園運営に役立っている。	
13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図ってい る。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント) 保護者などからの苦情又は意見を受け付ける仕組みについては、意見箱、電話やメールさらに法人事業部への連絡などがある。重要事項説明書にも相談、苦 情等対応窓口及び担当者が明記され、入園時や保護者会などで説明し周知している。苦情受付マニュアルに則って保護者等からの相談、苦情等の対応が行 われており苦情記録簿に記録し、問題点の解決に向けた取り組みを行っている。また、保護者の意見を聞く場として運営委員会が機能している。また運動会や 発表会の後に行われるアンケートも同じように保護者の意見等を集約し、問題点の改善に取り組んでいる。	

評価項目		標準項目	
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント) スキルアップシートを利用し年2回自己評価を実施している。月案、週案等の作成過程から課題をだし職員会議でも取り上げて、教育及び保育の質の向上につなげている。園長は職員室や入園のしおり等に図式化された「保育目標」や「私たちの約束」に基づき個々の場面で助言し、保育の質の向上に努めている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント) 法人のチャイルドケア部の作成したマニュアル、我孫子市の作成したマニュアルさらに園の状況に合わせたマニュアル(熱中症対策やプール使用など)が整備されている。我孫子市のマニュアルはteamsに保管し、全職員が閲覧可能となっている。必要に応じてマニュアルの見直しも職員会議での読み合わせを行い実施している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント) 保育園ホームページに園見学のお知らせとともに、園生活の様子を掲載し、保育園生活がイメージしやすいよう工夫されている。また、園のブログで各クラスの活動内容を月2〜3回お知らせする。見学者対応は、1日2回午前と午後一組ずつ実施し、時間は30分程度、園長が対応する。三幸学園パンフレットと当園独自のパンフレット2種類にそって、こどもの様子をみてもらいながら、施設内を案内する。見学者からは、募集人数、4月入園、途中入園や車送迎、費用についての質問が多い。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント) 園玄関に保育理念を掲示し、園の保育方針が一目見てわかるようにしている。入園説明会は2月に合同説明会を実施している。園長、主任、広報担当職員が約1時間程度、園の保育方針や入園してからの様子をパワーポイントを用いてわかりやすく説明する。持ち物は、実物を提示し、名前の記入箇所なども示し、園生活の不安に丁寧に対応している。重要事項、個人情報同意書を提出いただき、保管している。保護者の意向は、個人記録に記載する。			
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント) 全体的な計画は、法人の保育理念、保育方針を基本に、園長が作成する。園長は年度始めに保育理念「主体的保育」について、職員に話す機会を設けている。クラス会議、リーダー会議、職員会議を通して、職員の意見が反映される仕組みが整っている。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント) 全体的な計画の保育理念「主体的保育」に基づき、クラスリーダーは年齢別の指導計画を作成する。日々の保育での疑問などは、都度クラスで話し合い、相談できる環境が整っている。クラス会議、乳児リーダー会議、幼児リーダー会議、職員会議で保育の振り返りを行い、改善につなげるPDCAサイクルが定着している。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容及び方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント) 年度始めに保育理念「個を受容し共感する中で、主体性を育む」について、園内で話し合う機会を設けている。年齢にあった「主体性」をクラス目標としている。クラス毎に、こどもに合わせた玩具や遊具を用意している。室内は子どもの遊び方に注目し、より主体的に柔軟に活動できるようなゾーニング的環境を意識し、設定している。園長は「こどもの主体性とはなにか」を園全体のテーマとし、保育実践に取り組んでいる。			

評価項目		標準項目	
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

0歳児の主体性とはなにかを常に話し合うことが大事と園長は考えている。職員はこどもの様子を口頭や個人連絡帳(コドモン)、クラス会議で共有している。月齢や発達の個人差が大きいので個々に合わせた声掛けや対応に工夫し、応答的保育を心掛けている。午睡時間は個々の入眠のタイミングにより3時間~3時間半程度で行う、SIDSは5分に1回、目視と体に触れて異常がないかを確認し、記録している。園での様子は個人の連絡帳(コドモン)で保護者に伝えている。伝え漏れがある場合は、電話で伝えることもある。細かい対応について保護者から信頼を得ている。

22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

職員は、こどもが自分でしようとする気持ちを大切に、できたことをほめることを意識している。常に「待つ」時間を持つことを心掛けている。友だちとの関わりで、噛みつきなどが起こった場合は、噛まれた保護者に状況を丁寧に説明するとともに、理解を得るよう努めている。おもちゃの大きさにも注意し、誤飲等に配慮しながら、安全に遊べるよう常にこどもを見守っている。保護者からは日々の様子や写真の配信が分かりやすく安心と評価されている。行事に祖父母の同席を希望する意見もあるが、施設の広さ等を説明し希望に沿えない事をご理解いただいている。

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

保護者から、3歳クラスから保育室が2階になり、体操服登園、リュックは自分で持つなど、環境の変化と共に自分ですることが増え、こどもも親も不安に思うことがあると言う意見があった。園長は進級し全てできなくてはと焦る必要はなく、少しずつできることが増えていくことを楽しみながら、個々によって発達に差があることを伝えていく必要があると感じている。ブロックやままごと等の人気の遊びで友だちとの関わりやできることが少しずつ増えている。

24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。

(評価コメント)

園玄関の水槽で亀を飼育している。散歩は挨拶を交わすなど、地域の人達と日常的に接する機会になっている。幼児クラスは年に1回の遠足には弁当とおやつ持参し、3歳は公園へ、4歳は我孫子市福祉バスを利用大洗水族館に行く。5歳児の卒園遠足は電車で上野動物園に行く。法人専門学校発表会見学は電車で亀有まで出かける。公共交通機関の利用や、公共の場所での体験は社会ルールを身に付ける機会になっている。

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	異年齢のこどもの交流が行われている。		

(評価コメント)

保育士はこどもの主体性を育むよう、「待つ」ことを意識し、言葉かけは、命令口調や指示が多くならないように気をつけている。幼児3クラスを縦割りにし、なかよしタイムと名付け3グループにわかれて、活動する機会を作った。2歳児と4歳児が手をつなぎ散歩を楽しむこともある。5歳児は3・4歳児の午睡の手伝いをするなど、優しさや思いやりなどの気持ちが育つ機会を設けている。幼児クラスのけんか等は、こども同士での解決するよう意識している。場合によって保護者にも状況を説明し、理解を得るよう努めている。

評価項目	標準項目
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
(評価コメント) コドモンに個々記録をしている。我孫子市発達センター「訪問保育支援」を活用し、心理相談員に相談できる仕組みが整っており、アドバイスは保育に活かしている。保護者には園での様子を伝え、家庭での困りごとなどを聞き取り、適宜相談窓口を紹介するなど、きめ細かい家庭支援を心掛けている。	
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント) 新入職員は入職前に早番と遅番の研修を受講する。引き継ぎノートと口頭で引き継ぎを行っている。伝え漏れは電話で伝えることもある。毎朝の朝礼で昨日の様子を伝え、こどもの様子を共有している。午睡をしっかりさせることで、夕方に疲れがでないように配慮している。特に0歳児で保育時間が長いこどもには、夕食をさせている。現在は夕食希望者はいない。夕方遅くまでいる時は通常とは別のおもちゃを提供し、楽しく過ごせるように工夫している。	
28 家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント) 年1回の保育参加は100%の参加率で、年2回の個人面談は、前期が希望制、後期は全員に受けてもらっている。個人面談で聞き取った保護者の悩みや相談は、コドモン「個人帳票」に記録し、必要に応じて園長が対応している。保護者会は年2回開催している。5月に開催した運営委員会は、各クラス1名の保護者代表と園長、主任、法人担当者が出席し、園についての意見交換を行った。現在外国籍の家庭は在籍していない。我孫子市子ども相談課との連携で、必要に応じて個別支援をする仕組みがある。	
29 地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。(小規模事業所は該当せず 非該当区) <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。(小規模事業所は該当せず 区)
(評価コメント) 卒園児の保育要録を小学校に送付するとともに、口頭引き継ぎを行う機会を設けている。園長は地区別幼保小懇談会に出席し小学校生活への円滑な移行に積極的に取り組んでいる。年長児は近隣小学校の行事の見学や、授業を体験する機会もある。職員は、小学校教諭と懇談する機会もある。我孫子市作成「幼保小連携の評価・改善チェックリスト」で活動の振り返りを行っている。市内保育園との交流会にも参加している。	
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント) 着替え時に身体にあざや傷がないかを確認している。気になることがある場合は、必ず保護者に確認している。園でできた小さな傷などは、保護者に報告している。不適切な養育や兆候、虐待が疑われる場合には、まず保護者に確認し、こども家庭庁の虐待等の防止ガイドライン、法人の児童虐待防止マニュアル、我孫子市マニュアルに沿って対応する。	
31 こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント) 入園時に我孫子市「児童の健康状況調査票」を提出してもらい個人別に保管している。毎年4月と10月に年2回の内科検診を実施し、年2回歯科検診も行っている。個別に記録し保存している。園長は見学者にSIDSに関する知識を伝え、0歳児は5分に1回、1・2歳児は10分に1回確認し、寝ている姿勢にも注意していることを伝えて、入園後にも再度伝えている。	

評価項目		標準項目	
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。

(評価コメント)

法人のBCPは外部業者が作成し、内容を確認し保存している。必要に応じて見直しを行う。市と保健所への報告も行う。園長は松戸保健所感染症研修に出席している。保護者に配付している「ぼけっとランドガイドブック」に感染症など体調不良時の対応について記載し、コモンでも配信している。園内の感染症発症状況は、園玄関に設置したボードで周知している。事務室内に独立した保健室を設置している。薬品等は使用期限を確認している。保護者からは、感染発症状況についてより詳細な情報提供を望む声もある。

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤食防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。

(評価コメント)

栄養士が食育計画を作成している。調理は3人の栄養士が担当している。栄養士は、各クラスへ出向き喫食状況を見たり、残滓を、今後の献立作成に活かしている。調理室は、ガラス張りでこどもは調理の様子を見ることができる。朝礼で栄養士から今日の献立のポイントや食材の栄養などを聞き、担任が給食時に説明することで、食べることに興味関心をもてるような働き掛けをしている。各クラスでシタケを栽培し、5歳児はお泊り会の食材の買い物など、食育活動になっている。アレルギー食は、食物アレルギーマニュアルに沿って提供し、職員が見守り、誤食に細心の注意を払っている。

34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。

(評価コメント)

法人の衛生管理マニュアルを基本に施設の温度や湿度などを設定しているが、近年の気温状況による熱中症の危険から、外気温を考慮して、室温や湿度を設定している。トイレには清掃チェック表を備え付け清掃し、清潔を保つようにしている。こどもが使用するトイレには、スリッパをそろえるように、床にテープを貼り、きちんと整える習慣が身に付くよう工夫している。遊具点検票、備品点検票で、毎月遊具などを点検している。施設内の不具合や気付いたことは、朝礼や職員会議で共有し、安全で安心して過ごせるように細心の注意を払っている。

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。

(評価コメント)

事故発生時には速やかに対応できるように事故発生時及び事故防止対策の対応マニュアルとを整備し、各職員が判断し行動できるよう徹底している。毎月安全点検表で年齢ごとに各クラス点検している。園内には安全管理係が毎年2名決められている。年間の避難訓練計画には地震、火災、風水害だけでなく年2回不審者訓練も外部の協力も得て実施している。

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。

(評価コメント)

BCPは外部業者に委託策定している。地震・津波・火災等非常災害に備えて、役割分担や対応マニュアルは整備されており、避難訓練年間計画に基づき、4月、9月、3月は月一回、その他は二回ずつ消防署立会い訓練等も含めて実施している。

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。

(評価コメント)

以前はあかちゃんステーションとして地域に開放し、突然のおむつ替え、授乳などでの利用があったが現在は利用されていない。子育て支援の案内なども年2回発行しているが参加者はいない現状である。園の近くには公園があり、園児による花壇の花の植え付けがなされている。そこには花木学園通り町内会の掲示板があるが、園が町内会に加入することで園の情報を積極的に発信する糸口となることが期待される。

特定非営利活動法人 **ACOBA**

〒270-1151 千葉県我孫子市本町 3-4-17 ABIKOs 2F

TEL:04-7181-9700 FAX:04-7185-2241

E-mail:acoba-fuku@key.ocn.ne.jp